

私たちの目指すもの

【目的】

この会は山口県環境や資源、生態系を活かした在るべき農業を求め、自然の循環・摂理を守るため、化学肥料・農薬などの化学物質や放射性物質・遺伝子組み換えなどを使用しない農法の研究、実践。そして消費者への環境保全型農業の重要性への理解を求め、有機農業の活用、流通についてシステムの確立を目指します。

【経緯】

やまぐち環境研は、1992年に合鴨稲作をきっかけにスタートしました。くしくも、第1回国連環境開発会議（地球サミット）が開催された年でもあります。

発足以後も、日本の農業を取り巻く情勢は厳しさを増し、限界集落や農村崩壊が現実味を帯びています。また、食の安心・安全が脅かされています。本会はこれらに対して意を同じくする団体と協力し、山口県や県会議員にもいろいろな提案をしています。



と一緒に活動を！ 入会のおすすめ

現在、会員は約100人。環境保全型農業には、有機農法、自然農法、自然農、EM菌を活用したもの、BLOF理論を基本にしたものなど様々な農法があります。やまぐち環境研は、ふところが深く、最終的な目的が、会の目的に添う化学肥料や農薬を使用しない、遺伝子組み換え技術を利用しない、環境への負荷をできる限り低減するのであれば、名前にはこだわらず、すべての農法を受け入れています。

自らを深め、新しい出会いと動きが起こるきっかけとなる相互連携の会として、楽しくやっていけたらと思っていますので、よろしくをお願いします。

- 資格：生産者、消費者等どなたでもOK
- 年会費：2000円（学生、ご家族割引があります。）
- 問い合わせ先：山口市市民活動支援センター（さぼらんて）
TEL 083-901-1166
- ※会の者は常駐していません。取次してくれます。

有機農業で持続可能な社会をめざそう！



山口県環境保全型農業推進研究会

（略称：やまぐち環境研）

「やまぐち環保研」活動状況

☆2019. 11 視察研修(防府市富海地区)



☆2020. 1 総会後の「情報交換会」



(持寄り食材に舌づつみ)

☆2020.3 第 29 回環境保全型農業フォーラム



(講師:小若順一氏)
食品と暮らしの安全基金

事例発表



☆西本葉子さん
(やまぐち食育くら
い)



☆中原みどりさん
(子どもの居場所づくり
IBS クラブ調理ボランティア)



☆片山耕修さん
(おごおり幼稚園園
長)

☆2020. 4 土壌診断研修会(Dr ソイル)



(西部地区)

(東部地区)



☆2019.11 県会議員との懇談会



(主催: 山口県有機農
業団体連絡協議会)

